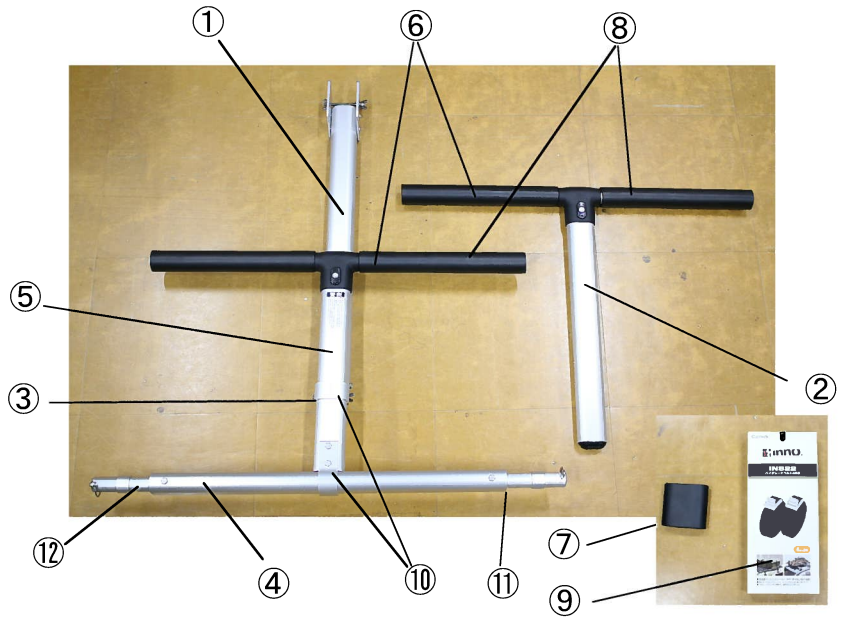


WL12D/WL12E スタンドアップパドルボードドーリー



完成写真

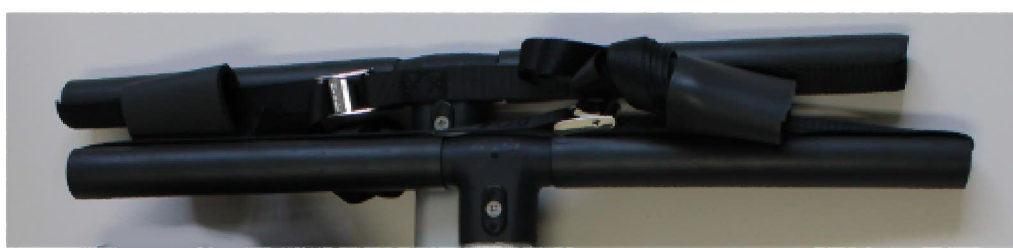
使用工具
・ 10番スパナ



品番	部品名	数量	品番	部品名	数量	
1	WL12-01 WL12 前フレーム プレート付585mm	1	P04-6-50	SUS六角ボルト6-50	2	
2	WL12-02 WL12 前立上がりフレーム 460mm	1	P05-06	SUSスプリングワッシャー-M6	2	
3	WL12-03 WL12 前フレームジョイントパイプ 100mm	1	P07-06	SUSナットM6	2	
組上 込済 パーツ に	P04-6-55	SUS六角ボルト6-55	1	P04-6-60	SUS六角ボルト6-60	2
	P04-6-65	SUS六角ボルト6-65	1	P05-06	SUSスプリングワッシャー-M6	2
	P07-06	SUSナットM6	1	Z521	Z521 D リング	2
	P05-06	SUSスプリングワッシャー-M6	1	P07-06	SUSナットM6	2
	P15-06	SUSナイロンナットM6	1	P02-6-45	SUSプラス皿6-45	2
	4	WL07-B WL07 車軸フレーム 560mm	1	P07-06	SUSナットM6	2
5	WL08-C WL08 立上がりフレーム 370mm	1	P04-6-50	SUS六角ボルト6-50	1	
6	WL08-E WL08 受けパイプ組込品	2	P14-6-55	SUS蝶ボルト6-55	1	
7	WL08-F WL08用バックルカバー	2	P14-6-70	SUS蝶ボルト6-70	1	
8	JL456-1 JL456-1 ラバークッション(WL08用)285mm	4	P08-06	SUS蝶ナットM6	2	
9	OSIN717-5 IN717-5 カムベルト25mmx4M 黒	2	P15-06	SUSナイロンナットM6	1	
10	IB060030AA 楕円50x34フケット連結固定30mm	2	Z736-3	F710/F200車軸シャフトカラー(アルミパイプL=20mm)	2	
11	Z507 BY-100/200/1450-4 車軸シャフト用カラー	2				
12	Z506-3 Z506-3 BY/F/用車軸シャフトTA30A、B、J用	2				

各部の組立

各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。



受けパイプにラバークッションを入れ、カムベルトをパイプ内に通します。ラッキングする際、バックルの部分にバックルカバーをかぶせてください。
※ラバークッションは水等を着けるとスベリ入り易いです。

中央のTジョイントに前フレーム、立上がりフレームを差し込んでプラス皿6-45、ナットM6で固定します。

立上がりフレーム 370mmと車軸フレーム 560mmを連結固定金具 30mmでジョイントしボルト6-50、スプリングワッシャー、ナットで固定します。次に立上がりフレームに連結固定金具 30mmを通し前フレームに付いているジョイントパイプを蝶ボルト&ナットで取り付けます。

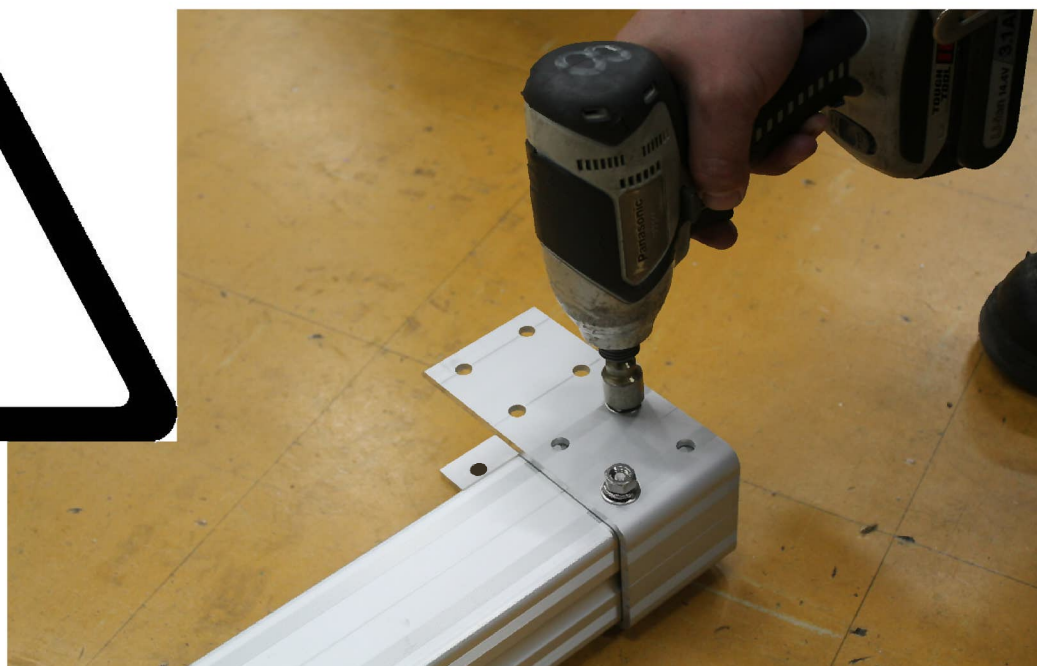


車軸フレーム 560mmに車軸シャフト用カラーと車軸シャフトをSUS六角ボルト6-60、SUSスプリングワッシャーM6、SUSナットM6で取付します。タイヤを車軸に入れてDリングを入れて完成です。
注意！Eタイヤ仕様は付属の車軸シャフトカラーエンビパイプをスペーサーとして車軸に入れてください！

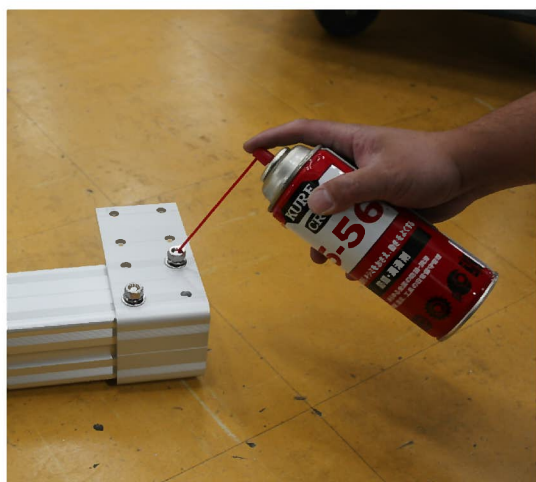
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1